

福祉サービス第三者評価結

評価結果報告書

令和1（2019）年度

株式会社MIRATZ

☆MIRATZ常盤台保育園☆

一般社団法人地域ケア総合評価機構

TEL03-3879-7823 FAX03-3879-2393

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	1)未来の希望に向かって発展・向上する明るい元気な子どもを育む 2)心豊かなエコ環境と優しい地域社会に生き生きと共生する子どもを育む 3)みんなを親しみ愛し、太陽のように暖かい心を持った子どもを育む
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割
	柔軟な考えや行動が出来る人材 子ども・保護者・職員・地域の方々に愛される人材 素直で誠実な人材
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）
	子どもにとって大切な乳児期に携わるという責任・使命 社会に貢献しているという自信 MIRATZ常盤台保育園に必要な存在というやりがいを持ってほしい

〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	利用児童の全世帯を対象とした。利用児童19名、世帯数は18であった。		
調査方法	アンケート方式を実施した。保育園から全世帯にアンケート用紙を配布してもらった。無記名で記入後、封をして保護者から直接、評価機関に郵送してもらった。		
	利用者総数	19	
	利用者家族総数（世帯）	18	
	共通評価項目による調査対象者数	18	
	共通評価項目による調査の有効回答者数	16	
	利用者総数に対する回答者割合（％）	88.9	

利用者調査全体のコメント

MIRATZ常盤台保育園は開園3年目の小規模保育園である。今回のアンケートは開園2年4か月たった時点の調査である。項目ごとの自由記述は17項目中9項目、記述の無かった項目が8項目、6世帯が記述していた。「提供されている食事は、子どもの状況に配慮されているか」「安全対策が十分に取られていると思うか」は全世帯が「はい」と回答している。「保育所の活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」「保育所の活動は子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか」「保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか」の項目は15世帯の保護者が「はい」と回答し、高い値になっている。「行事日程の設定は保護者の状況に対する配慮は十分か」は「はい」が7世帯だった。自由記載欄には「子どもが楽しく通っている。」「安心して預けられている」や「友達とのトラブルなどの対応についてネガティブな話もしてほしい」「小規模なのが悲しい。年長まで見てもらえると良い」など多くの記述があった。利用者の総合的な感想は「大変満足」は9世帯、「満足」は3世帯で合わせて75％になっている。「どちらともいえない」は2世帯、「不満」は1世帯、「無回答」1世帯であった。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	15	1	0	0
94％が「はい」と答え、6％が「どちらともいえない」と答えていた。「色々なことを身につけて、できるようになっているので本当に助かっています。」という記述があった。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	15	1	0	0
94％が「はい」と答え、6％が「どちらともいえない」と答えていた。この項目に対する記述はなかった。				

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	16	0	0	0
全員が「はい」と答えていた。「保育園では野菜も食べるのでありがたいです。」という記述があった。				
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	14	2	0	0
88%が「はい」と答え、12%が「どちらともいえない」と答えていた。この項目に対する記述はなかった。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	7	1	1	7
44%が「はい」と答え、6%が「いいどちらともいえない」、6%が「いいえ」、44%が「非該当」と答えていた。「非該当」と答えた方の自由意見欄には、「今までそうだったことがないのでわからない。」「残業がないから（「非該当」とした）」などの記述があった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	16	0	0	0
全員が「はい」と答えていた。この項目に対する記述はなかった。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	9	7	0	0
56パーセントが「はい」と答え、44%が「どちらともいえない」と答えていた。「平日におこなわれるので、仕事で対応できないときもあります。」という記述があった。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	14	2	0	0
88%が「はい」と答え、12%が「どちらともいえない」と答えていた。「いつも親身になって聞いてくれます。」という記述があった。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	13	3	0	0
81%が「はい」と答え、19%が「どちらともいえない」と答えていた。「基本的にはきれいですが、子どもの物品をいれておく(替えのオムツや衣類のストック)引き出しが子ども達の手の届くところにあり、頻繁にぐちゃぐちゃにされている。よその子のよだれや鼻水がついて、手で触れてしまうので衛生的にも不安。」という記述があった。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	14	1	1	0
88%が「はい」と答え、6%が「どちらともいえない」、6%が「いいえ」と答えていた。この項目に対する記述はなかった。				

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	13	2	0	1
81%が「はい」と答え、12%が「どちらともいえない」、6%が「非該当」と答えていた。この項目に対する記述はなかった。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	6	2	0	8
38%が「はい」と答え、12%が「どちらともいえない」、50%が「非該当」と答えていた。「全くお任せできます。」「見たことがないのでわからない。」という記述があった。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	14	2	0	0
88%が「はい」と答え、12%が「どちらともいえない」と答えていた。この項目に対する記述はなかった。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	10	1	0	5
63%が「はい」と答え、6%が「どちらともいえない」、31%が「非該当」と答えていた。この項目に対する記述はなかった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	15	1	0	0
94%が「はい」と答え、6%が「どちらともいえない」と答えていた。この項目に対する記述はなかった。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	6	3	0	7
約38%が「はい」と答え、19%が「どちらともいえない」、44%が「非該当」と答えていた。「まだその経験がない。」という記述があった。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	8	3	0	5
50%が「はい」と答え、19%が「どちらともいえない」、31%が「非該当」と答えていた。「まだその経験がない。」「そこまで困ったことがないので特に聞くことはありませんでした。」「不満に思ったことがないです。」という記述があった。				

〔組織マネジメント：小規模保育事業〕

I 組織マネジメント項目（カテゴリ－1～5、7）

No	共通評価項目		
1	カテゴリ－1		
	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリ－1（1－1）		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ－毎の 標準項目実施状況 7/7	
	評価項目1		
	事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している		評点（〇〇）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目2		
	経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事務所をリードしている		評点（〇〇）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当
	評価項目3		
	重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		評点（〇〇〇）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
	カテゴリ－1の講評		
	<p>① 職員の集合教育を通じて園の保育理念の理解が深まるように取り組んでいる</p> <p>MIRATZは多くの保育園を運営していてグループ法人としての共通した保育理念があり、常盤台保育園でもそれを理念としている。グループ法人主催による各保育園職員の集合教育が毎年開催されており、常盤台保育園もほぼ全員の職員を参加させて、保育理念の浸透に取り組んでいる。また、園では理念にあげられている「未来の希望」、「明るい元気な子ども」、「心豊かな」、「太陽のように暖かい心」という言葉が持つ概念を各職員に考えてもらい、それをどのように保育に活かしていくかなどの教育もおこなっていて、理念の実現に取り組んでいる。</p>		
	<p>② 少人数体制を逆に利用したコミュニケーション強化の仕組み作りを期待する</p> <p>重要な案件に関しては、リーダー会（園長、主任、クラスリーダー参加）で議論をし、更には毎月開催の法人グループの園長会で議論をして、その結果を持ち帰り、職員会議（園長、主任、各クラス1名、栄養士1名参加）で報告と指示をしている。各クラスの職員には職員会議議事録の既読チェックを以って事案の徹底としている。園長が直接伝えないので案件の経緯と内容や園長の思いも十分に伝わらず、職員の疑問や誤解も発生し相互の要望もうまく通じていない状況がある。少人数体制を逆に利用したコミュニケーション強化の仕組み作りを期待する。</p>		

	<p>③ 保護者会や運営委員会で保護者の意見や園の重要な案件の説明をしている 園には担当保育士あるいは園長も参加をする「保護者会（集合、個人別）」があり、また保護者代表や民生委員などの外部委員、グループ法人代表や園長が参加をする「運営委員会」があり、これらの場で園からは「保育理念」、「保育方針」、「運営方針」などの概念、保育活動の状況並びに重要な案件の経緯や内容について説明をして、保護者への理解の浸透を図っている。またこの場で、保護者からの意見、要望や提言を聞き、話し合いを通じて園運営の向上に努めている。定期的に各種の園だよりを発行して、日常の保育の様子を伝えて、信頼を得ている。</p>		
2	カテゴリー 2		
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行			
サブカテゴリー 1 (2-1)			
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 6/6	
<p>評価項目 1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している</p> <p style="text-align: right;">評点 (○○○○○○)</p>			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当	
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当	
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当	
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当	
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当	
サブカテゴリー 2 (2-2)			
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 3/5	
<p>評価項目 1 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している</p> <p style="text-align: right;">評点 (○●●)</p>			
評価	標準項目		
○あり ●なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当	
○あり ●なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当	
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当	
<p>評価項目 2 着実な計画の実行に取り組んでいる</p> <p style="text-align: right;">評点 (○○)</p>			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当	
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当	

カテゴリー 2 の講評

① 行事後のアンケート調査や職員会議での反省会で、ニーズの把握や改善に努めている

意見回収箱を事業所入口の目立つ所に設置している。前年度は保育参観を2回、夏まつりを1回、保護者参加の行事をおこなっており、行事後に保護者にアンケート調査をおこなっている。調査内容は、「日程や時間」、「行事内容」、「良かった点・改善した方がよい点」、「感想や要望」についてであり、多くの保護者から回答がよせられている。また、職員会議でも議題にのせて反省会を行い、ニーズの把握と取り組む改善など対応すべき課題をとりあげて、今後の保育の向上に取り組んでいる。

② 事業の展望を踏まえ、中・長期計画を策定して単年度計画にリンクさせることが望まれる

開設3年目の保育園であり、単年度事業計画は策定しているものの、事業の将来の展望を見据えた中・長期事業計画が策定されていない。理念やビジョンの実現に向けて、何をいつおこなうかの長期スパンの課題を策定し、具体的なアクションを年次予算とともに単年度事業計画に落とすプロセスがまだ確立されていない。これらの事業計画、課題や方策を職員に説明し、理解を深めることで日々の保育活動の方向性も定まり、職員も安心して保育業務に従事していけることにつながるので、早期に中・長期事業計画を策定することを期待する。

③ 「保育の内容に関する全体的な計画」を事業計画化して成果が得られることを期待したい

園では事業年度ごとに、「保育の内容に関する全体的な計画」の一覧表を作成し、クラス別の保育目標や養護・教育・食育の観点の配慮事項をまとめている。また、健康支援、食育計画、環境衛生管理、避難訓練、保護者・地域支援、職員の資質向上・研修計画も項目ごとに記載されており、単年度の事業の方向性が示されている。この方向性を具体的な課題や方策にブレークダウンして、担当者を決め、いつまでにどこまで進めるかを事業計画としてまとめ、また定期的にどこまで進んだかをチェックして、見直しもしながら成果が得られることを期待したい。

3

カテゴリー 3

経営における社会的責任

サブカテゴリー 1 (3-1)

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況 2/2

評価項目 1

社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる

評点 (〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当

サブカテゴリー 2 (3-2)

利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況 4/4

評価項目 1

利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている

評点 (〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当

評価項目 2 虐待に対し組織的な防振対策と対応している 評点 (〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリー 3 (3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5/5
評価項目 1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点 (〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目 2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点 (〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク（事業者連絡会、施設長会など）に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリー 3 の講評		
4	カテゴリー 4	
リスクマネジメント		
サブカテゴリー 1 (4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 1/5
評価項目 1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる 評点 (〇●●●●)		
評価	標準項目	
○あり ●なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク（事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など）を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
○あり ●なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
○あり ●なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画（BCP）を策定している	○非該当
○あり ●なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリー 2 (4-2)

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている
サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況 **4/4**

評価項目 1
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている
評点 (〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員（実習生やボランティアを含む）が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当

カテゴリー4の講評

- ① リスクを洗い出し、優先順位をつけて、順次対策をとっていくことが望まれる
毎月災害時の避難訓練と不審者対応訓練を実施している。また、園児の散歩コース、公園2ヶ所と図書館への歩行時に危険な箇所を抽出し、そこでの注意点や対応を記載したマップを作成して交通事故遭遇リスクの低減を図っている。この他にも事業の推進を阻害するものには感染症、食中毒、事故、環境変化などさまざまなリスクがあるので、園として考えられるリスクを一旦洗い出して、リスクの影響度と発生度の観点から対応の優先順位をつけて対策をとっていくことが望まれる。またそれに合わせて対応マニュアルを逐次整備していくことも期待したい。
- ② 近い将来の大規模災害に備えた事業継続計画の策定を検討することが望まれる
事業を停止させる恐れのある災害に遭遇した場合に、事業を継続させたり早期に復旧させたりするために平時におこなっておくべき活動や、災害発生後に取り得る方法や手段を、災害や被害の大きさに応じて前もって予定しておくというのが事業継続計画（BCP）である。保育継続のための対策（経営資源、人・物・情報・金・その他）や緊急時体制、BCPの運用（定着や見直し）については、少しずつでも積み上げておくことが望まれる。その内容は職員や保護者ともに周知・共有して、大災害発生後の行動に備えておくことを期待している。
- ③ 個人情報や秘密情報の文書は取扱いの規程を設け、施錠された場所で保管をしている
個人情報保護基本規程を制定して職員が個人情報を取り扱う場合に適用されるルールを決めている。就業規則内の服務規律にも秘密情報の取扱いが定められている。また、「勤務するにあたっての注意事項」にも記載して、個人情報の取扱い注意や保護者の保育園内での子どもの写真撮影の抑制などを徹底している。これらの秘密情報は鍵のかかる事務室内の施錠されたロッカーに保管されている。個人情報の電子データは運営管理者のみがアクセスでき、書類の破棄にはシュレッターを用いて、情報の漏えい防止に努めている。

5 カテゴリー 5

職員と組織の能力向上

サブカテゴリー 1 (5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する
人材の確保・育成・定着に取り組んでいる
サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況 **10/12**

評価項目 1
事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている
評点 (〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当

評価項目 2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点 (●●)		
評価	標準項目	
○あり ●なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
○あり ●なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
評価項目 3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点 (○○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成（研修）計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成（研修）計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目 4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点 (○○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇（賃金・昇進・昇格等）・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど）を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリー 2 (5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 3/3
評価項目 1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる 評点 (○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当
<p>① 開設3年目であるが、将来の事業組織を見据えて人材育成計画の作成が望まれる 職種や階層ごとに組織として求める人材像を整理して、技術水準、知識、専門資格や昇進・昇格の長期的な展望を具体的にまとめたものがキャリアパスであり、職員に周知されていることが必要である。常盤台保育園はまだ開設されて3年目であり、いろいろな研修計画や業務の担当を決めて保育の質の向上と職員の力量アップに力をいれ始めたばかりであり、組織として長期的にどのように職員を育成・配置していくのかを描いたもの、即ちキャリアパスに連動した人材育成まではまだ整理されていない。将来の事業組織を見据えて、キャリアパスの作成が望まれる。</p> <p>② 職員の育成面談票を作成し、職員個人の能力や資質向上に活用することを期待する 職員個人の年度の実績評価には「自己評価表」を用いている。評価表の内容は、就労と保育に関する約100項目に亘る行動分析であり、各項目に対してそれぞれ、十分(1)～改善(4)の点数をつけて、自己評価をしていて、年度末にはこれを基に面談をおこなっている。これは職員個人の具体的な行動改善にはなるが、職員個人の課題・目標やその</p>		

結果に対する個人の反省や次年度の取組みや意向などまでにはまとめられていない。これらをまとめた職員の育成面談票を作成し、半期ごとに活用して職員個人の育成に資することを期待している。

③ 「保育向上」の業務課題では担当リーダーを決めて課題解決の推進を図っている

各種行事や業務課題ごとに担当リーダーを決めて計画の推進を図っている。業務課題の「保育向上」では保育内容を「クリエイター（行事、イベント、チラシ）」、「クラフト（絵画制作）」、「フィジカル（体を動かす遊び）」、「リズムパフォーマンス（音楽・リズムを用いた発育）」のジャンルとリーダー担当分けをし、それぞれにファイルを作成して遊び方・道具・アドバイス・ポイントなどを記した資料を蓄積している。今年度はその資料の量を積み上げることを目標とし月次で達成度合いを管理している。この資料を使って保育の質の向上を目指している。

7

カテゴリー7

事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1（7-1）

事業所の重要課題に対して、目標設定・取組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その1）

前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）

重要課題の一つを、「会社の理念やビジョンを意識しながら業務にあたる」と設定した。MIRATZ法人グループには数多くの保育園があり、MIRATZ理念（保育理念と運営方針）は共通である。取組み内容は、法人グループ主催の研修に全職員を参加させ主任も複数回参加させて、理念の理解を深めさせた。更にMIRATZ理念の理解を深めるために、理念に含まれるフレーズ（未来の希望、明るい元気な子ども、心豊かな、太陽のように暖かい心）について職員各自がどのように感じているか、また保育園で勤務するのに大事だと思うこと・どんな保育をしたらよいか（養護・食事・関わり・健康・環境）・保護者へどのような対応がよいのか、などの考えをまとめさせて、日々の保育の実践で活かすように取り組んだ。具体的な保育課題に関する研修も行い、保育士が手作りして園児に親しみのあるおもちゃを作成したり、保育のアイデア出しをして様々な遊びができるようになったり、粘土細工・夏祭りなど多くの行事を経験できるようにした。保護者から保育参観や夏祭り後にアンケート調査をとり、日ごろの保育も含めて感想や要望を聞いて保育の改善に努めた。

目標の設定と取組み

- 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取組みを行った
- 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取組みが行われていなかった
- 具体的な目標が設定されていなかった

取組みの検証

- 目標達成に向けた取組みについて、検証を行った
- 目標達成に向けた取組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む）
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

検証結果の反映

- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた
- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

前年度は園開設2年目であり園長も交替しているので、保育の根幹である保育理念の浸透を改めて図り、保育の質を向上することを重要課題と設定している。具体的な目標は研修の実施である。園が属している法人グループには数多くの保育園があり、MIRATZ理念（保育理念や運営方針）は共通である。法人グループ主催の研修に全職員を参加させ、主任も複数回参加させており、その内容は報告書で確認できる。更にMIRATZ理念の理解を深めるために、理念に含まれるフレーズについて職員各自がどのように感じているか、また職員としての姿勢・保育活動の考え方・保護者への対応、などの考えをまとめさせており、取組み内容は記録として残している。具体的な保育課題に関する研修もおこない、保育のアイデア出しで保育内容を豊富にし変化を持たせている内容は、資料としてまとめて共有化している。保護者から保育参観や夏祭り後にアンケートをとり、保護者の目を通して保育士の保育内容と理念の実現度の検証をおこなっている。文章系となっているものをグラフ化し分析してまとめることを期待したい。職員の保育力が向上していける環境作りを翌年度も継続課題としており、検証結果を反映させている。

<p>評価項目 2</p> <p>事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その2）</p>	
<p>前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）</p>	
<p>二つ目の重要課題を「地域交流活動の促進」と設定した。地域交流はまだ着手段階で試行の状態であり、まず実習生の受け入れからおこなった。実習は、「子育て支援員」と「保育士を目指す学生」であった。「子育て支援員」は区からの依頼がきっかけであり、支援員資格取得のための実習で、保育補助として2名を2日間受け入れた。実習担当者を決めたり、給食サービスを伴うための検便を実施するなど受け入れ体制の整備や同意書作成の手順などルールを整理した。「保育士を目指す学生」はイベント会場で声をかけた学生4名に対して、別々の日に半日の保育体験を実施した。その学生のうちの一人を今年の職員採用につなげた。その他の地域交流活動としては、近くにある高齢者福祉施設を2歳園児が訪問をして、自作したマラカスをプレゼントしたり、歌をうたったりして交流をおこなった。園児は大きな声で始まりと終わりの挨拶もでき、保護者にも施設訪問の出来事を話していて良い機会となった。訪問施設は2ヶ所あり施設の行事にも参加を誘われており、今後交流は更に深めていく。近隣の公立保育園園児との交流、未就園児の保育体験や育児相談などをどのように展開させていくかも課題と考えている。</p>	
<p>目標の設定と 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>評価項目 2 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p>	
<p>前年度は園開設2年目であり地域交流はまだ進んでいないので、重要課題を「地域交流活動の促進」と設定している。地域社会への貢献活動の実績作りのひとつとして、「子育て支援員」と「保育士を目指した学生」の実習生の受け入れを目標にしている。受け入れに対して具体的な目標値の設定はおこなっていないが、「支援員」では区と情報交換をし、「学生」ではハローワークのイベントに参加をしてニーズの発掘の取り組みをおこなっている。その取り組みの結果、「支援員」では2名2日、「学生」では4名別々に半日、受け入れることができ、取り組みの検証をおこなっている。その他の地域交流としては、近くにある高齢者福祉施設を2歳園児が訪問をして、交流を開始している。その様子は報告書に写真入りで記されていて、地域交流の深まりが確認できる。次年度の事業計画へは、実習生の受け入れ、中学生のボランティア体験、社会福祉施設訪問や消防署見学など、継続と拡大を課題としてあげており、検証結果を反映させているものと考えられる。</p>	

〔サービス分析：小規模保育事業〕

II サービス提供のプロセス項目（カテゴリー 6-1～3、6-5～6）

No	共通評価項目		
1	サブカテゴリー 1		
	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4/4	
	評価項目 1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点 (〇〇〇〇)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
	サブカテゴリー 1 の講評		
	<p>① ホームページや facebook、入園ガイドなどで園の情報を発信している ホームページや facebook には建物の外観、室内の写真と基本的なことや地図が他の系列保育園と一緒に掲載されている。常盤台保育園の保育内容については載せられていないが、園独自の保育内容の良さ、特徴や行事、子育て支援などや園生活などが載せられると良い。行事、子育て支援事業などの写真も掲載したホームページが作られることを期待したい。入園ガイドには保育理念、年間行事予定、デイリープログラム、保育時間、利用規約を載せている。入園希望者には入園ガイドを渡して説明をおこなっている。</p> <p>② 保育園の情報を区や地域に提供している 入園ガイドを区に置かせてもらっている。夏祭りのお知らせは地域にポスターを貼ったりして参加を呼びかけている。在園児には玄関の掲示コーナーに区からのお知らせや園からのお知らせなどを見やすく掲示している。区の保育園紹介パンフレットには写真入りで掲載されている。区のホームページに園の情報を提供している。園の建物の外にも掲示コーナーがあると、通りがかりの人にも園のイベントなどを知らせることができるので検討を期待したい。</p> <p>③ 入園希望者には見学会をおこなったり丁寧に説明をしている 見学会をおこなうにあたり、保護者への対応について研修を受けている。保護者の話を聞くときの立ち位置や、初めて園を訪れる保護者の不安を和らげるための質問の仕方などを学び、見学会の保護者対応に役立っている。見学会は随時おこない、子ども達の様子や給食の内容などを見てもらいながら説明し、入園ガイドを渡している。電話での問い合わせにも丁寧に対応するようにしている。夏祭りには出産前の保護者の参加も呼びかけている。</p>		
2	サブカテゴリー 2		
	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 6/6	
	評価項目 1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点 (〇〇〇)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
	●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
	●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

評価項目 2			
サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている 評点 (〇〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリー 2 の講評			
<p>① 重要事項や利用規約を説明し同意書もらっている 入園時や引き続き在園する保護者には重要事項や園のしおりについて、個々に説明をおこなっている。説明後には利用契約書に同意のサインをもらっている。情報量が多いので伝わっていない部分もあり、園のしおりをさらに見やすくしていきたいと園では考えている。園のしおりには園生活でおこなっている保育内容の特色「基準以上の職員配置でゆとりの保育、安心・安全な食材を使った給食、毎日の外遊び」などを記載し、園をアピールすることを期待したい。</p> <p>② 一人ひとりの園児の情報を記録している 入園時には子どもの生活状況や健康状態を保護者に記入してもらい、個人面談をおこないアレルギーの有無や保育園への要望などを記録している。在園中は一人ひとりの発育過程の項目チェックと保育上参考となる事項の記録、健康診断の結果や予防接種の記録など児童表にまとめてファイルしている。</p> <p>③ 慣らし保育はゆとりある職員配置で園児の気持ちに寄り添いながらすすめている 慣らし保育は園児の状況を見ながら、預かる時間を徐々にふやし2週間かけて園生活に慣れるようにしている。無理なく慣れていけるように、慣らし保育中の様子は詳しく保護者に伝え家庭との連携を取りながら進めている。子どもの様子により慣らし期間は柔軟に対応している。</p>			
3	サブカテゴリー 3		
個別状況の記録と計画策定		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 12/12	
評価項目 1			
定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、 子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点 (〇〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		○非該当
評価項目 2			
全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点 (〇〇〇〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している		○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達の状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している		○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている		○非該当

評価項目 3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点 (〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
評価項目 4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している		評点 (〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当
サブカテゴリー 3 の講評		
<p>① 園児一人ひとりの発達状況や、健康状態などの推移を丁寧に記録している 入園時の子どもの発達状況、健康状態、家庭状況などを保護者に記入してもらい、聞き取りもおこない園児一人ひとりの状況を記録し保管している。毎月の月案作成ではクラスごとに前月の子どもの状態を記入し、当月の目標を立てている。月案に基づき週案を作成し毎日の保育をおこない連絡帳や日誌に記録している。月齢による発達項目のチェックをおこなうとともに0歳児は1か月ごと、1、2歳児は2、3か月ごとに「保育上参考となる事項欄」に成長の様子を記録している。</p> <p>② 指導計画などの共有をさらに進めるため全員が参加する会議を持つことを期待したい 個別指導計画ファイルは職員が閲覧できるようにしている。職員会議では各クラスの子どもの状況や栄養士からの報告などを共有できるようにしている。職員会議は午睡中を利用して各クラスの代表でおこなっている。参加できなかった職員は職員会議議事録を読み、読んだらチェックをするようにしている。全員が参加する職員会議がおこなわれていないが、保育内容や研修報告などを直接共有するため、全職員が参加できる職員会議がもたれることを期待したい。</p> <p>③ 職員連絡ノートや伝言ボードを利用し、園児の変化や保護者からの連絡を共有している 登園時は園児の視診をおこない、保護者から園児の様子や連絡事項を聞き取り必要な事項を伝言ボードに記録し職員間の共有をおこなっている。伝言ボードには日中のできごとで保護者に伝えたい内容も記録している。降園時には申し送りなど必要な事項の確認をおこない保護者に伝えている。</p>		
5	サブカテゴリー 5	
プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5/5
評価項目 1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点 (〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
評価項目 2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点 (〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当

サブカテゴリー5の講評

① 子どものプライバシーの保護に関する内容を文書化し、職員に説明している

個人情報保護基本規定が作成され、個人データの利用の制限、秘密保持、契約終了後のデータの返却や消去などを定めている。「勤務にあたっての注意事項」には園内のすべての書類の持ち出し厳禁、保育上知り得た情報を在職中・退職後も第三者に漏らさない、保護者が園内で写真を撮っていた場合、削除の声掛けをすることなどが書かれ職員に説明している。職員の同意書は取り交わしていないが、個人情報の保護の意識を徹底するため同意書を作成することが必要に思われる。保護者にはホームページへの掲載や写真の取り扱いなど承諾書ももらっている。

② 園児一人ひとりの発達にあわせた支援や働きかけをおこなっている

0歳児クラスはスキンシップを大切にし、離乳食は二人の園児に一人の保育士を配置し、一人ひとりのペースに合わせて食べさせている。入眠の際も一人ひとり抱っこで寝かしつけている。1, 2歳児クラスも基準以上の職員配置で子ども一人ひとりに合わせた対応ができる体制をとっている。1歳児クラスからトイレトレーニングを積極的におこなっていて、2歳児クラスでトイレトレーニングを完了し、紙おむつからパンツに移行している園児も数人いる。1, 2歳児クラスの食事無理じいはしないで園児のペースに合わせて食べさせている。

③ オムツ交換はトイレにある交換台を使用したりシートを敷くなど配慮しておこなっている

便のオムツ交換は一人ひとりトイレにあるオムツ交換台やシートの上でおこなっている。着替えの際は全裸にならないように配慮をしている。塗り薬を塗る時は事務所内でおこなっている。0, 1, 2歳児の水あそびは外でおこなっているため、Tシャツを着せ、紙おむつまたはパンツをはかせておこなっている。保護者の希望でラッシュガードを着ている園児もいる。水あそびの際は外から見えないように散歩車などでガードしておこなっている。

6

サブカテゴリー6

事業所業務の標準化

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況 5/5

評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点 (〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点 (〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当

サブカテゴリー6の講評

① 一つひとつの行事にねらいや配慮、準備、注意点を掲げ、丁寧に計画している

夏祭り、水遊び、施設の訪問、保育見学会など一つひとつの行事の計画書にはねらい、活動内容、配慮や注意点、担当者や準備の内容が細かく検討され記録されている。計画に沿って行事が終わった後には報告書も作成されている。年度末には1年間の総括をする職員会議がおこなわれている。月齢の小さい子どもたちの保育をおこなっている保育園なので、半期ごとの総括ができるとさらに良い。

② 夏祭り、保育参観のアンケートを取り、職員会議で内容の検討をおこなっている

昨年度は保護者に向けて夏まつり、保育参観についてのアンケートをおこなった。行事の日程や時間・内容・良かった点・改善点・感想や要望などを記入してもらった。今年度の保育参観のアンケートでは「子どもの園での様子がわかり良かった」「子どもの姿に感動した」「一日の流れが見学できてよかった」という意見が多く寄せられた。また「臨機応変に行動する職員の姿を見て安心して任せることができる」などの感想も寄せられていた。アンケートをもとに、良かった点や改善点がまとめられ次回の行事に生かせるように期待したい。

III サービスの実施項目（カテゴリー 6-4）

		サブカテゴリー 4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 34/34	
1	評価項目 1 子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている	評点 (〇〇〇〇〇)	
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当
	●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつぎ等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当	
評価項目 1 の講評			
<p>① 子ども一人ひとりの発達を把握し、発達に合わせた保育をおこなっている 入園時には入園前の子どもの発達状況を記録している。年度初めには年齢別の年間計画を作成している。月間はクラス計画と個人計画を作成している。毎月、前月の子どもの発達状況を確認・記録し、次月の計画をクラスごとに一人ひとり個別に作成している。職員会議でも各クラスの子どもの発達状況などを出し合い、状況を共有しながら保育をおこなっている。トイレトレーニングや離乳食の進め方、食事の仕方など一人ひとりの状況を確認しながら必要に応じた援助をおこなっている。</p> <p>② 子ども達が自主的に遊べるように環境や手作りおもちゃを工夫している 保育室が明るく保育士が部屋全体を見渡せるようになってきている。各クラスに子ども達が自由に取り出せるおもちゃ棚コーナーや2歳児クラスはままごと遊びコーナーを設けている。絵本棚もクラスごとに置いてあり子ども達が自由に絵本を手にできるようにし、自主的に選んで遊べるようにしている。手作りの電車などのおもちゃも子ども達が取り出して遊べるようにしてあり、子ども達が主体的に遊べるように工夫している。</p> <p>③ かみつぎなど、子ども同士のトラブルは気持ちを尊重しながら対処している まだ言葉で十分伝えられない年齢の子どもが多いので、トラブルになった時はお互いの気持ちを代弁したり共感しながら子どもの気持ちに寄り添って対応している。かみつぎやけがが起きたときは保護者にお詫びをし、いつでもどんな状況で起きたかを説明している。けがの発生状況、原因、治療、保護者への連絡状況、再発防止を記録した「事故簿及び経過記録簿」を作成している。</p>			
2	評価項目 2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている	評点 (〇〇〇〇)	
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
	●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当	

評価項目 2 の講評

① 基本的な生活習慣がスムーズに身につくよう、丁寧な働きかけをしている

0歳からの保育園なので、基本的な生活習慣がスムーズに身につくよう年間計画を作成している。4月の保健だよりでは早寝早起きが必要な理由などを載せて保護者に配布している。保健だよりは年四回発行している。給食だよりは毎月発行し、手づかみ食べから、月齢に合ったスプーンやフォークの持ち方なども載せている。1歳児クラスからトイレトレーニングを子どもの状況を見ながらおこなっている。睡眠、遊び、食事、排泄など手厚い保育体制でスムーズに園児たちが基本的な生活習慣を身につけられるように保育している。

② 0歳児は一人ひとりのペースに合わせて睡眠をとらせている

0歳児は家庭での睡眠状況を聞き取り、月齢や個々のリズムに合わせて、朝寝、午睡、夕寝をさせている。保育士が一人ひとり抱っこして寝かしつけている。遅番の職員には延長保育児で夕寝の必要な子については申し送りをおこなっている。1、2歳児は簡易ベッドを使用し、静かな環境で午睡が取れるようにしている。睡眠中の園児を見守りながら睡眠チェック表を記入している。

③ 連絡帳に丁寧に記載し、降園時には保護者に直接その日の様子を伝えている

A4サイズの園独自の連絡帳を作成し、園での保育時間7時から20時までの記録が書けるようにしている。乳児の保育園なので保護者からの家庭での様子も詳しく記入するようになっている。保育園での様子と連絡事項を書く欄があり、子ども達の1日の様子や成長がわかるように記録している。降園時には保護者一人ひとりにその日の様子を直接伝えている。交代勤務で担任が降園時にいない場合は、連絡ノートや伝言ボードに書かれた連絡事項などを遅番の保育士が保護者に直接伝えている。

3

評価項目 3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点 (○○○○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目 3 の講評

① コーナー遊びや自由に読める絵本、手作りおもちゃなど自主的に遊べるようにしている

0、1、2歳児クラスにはおもちゃを置いた棚があり、手作りおもちゃ、絵本などを子ども達が自由にとって遊べるように工夫している。2歳児クラスでは、ままごと遊びコーナーや牛乳パックで手作りした電車で子ども達が楽しそうに遊んでいた。0歳児クラスでは型はめおもちゃや手や指先を使って遊ぶ手づくりおもちゃをつかって園児が集中して遊ぶ姿が見られた。延長保育時間帯では、1、2歳児は他のクラスのおもちゃで遊ぶこともしている。

② 絵本の読み聞かせやフラッシュカードを使い、ことばの発語を促している

ことばを獲得する時期の子ども達なので、園児一人ひとりに言葉かけを十分にし発語の意欲を育てることを目標にしている。毎月の指導計画には一人ひとりの言葉に対する保育内容や配慮、援助内容を決めて働きかけをおこなっている。各クラスでは毎日絵本の読み聞かせをおこなっている。1、2歳児クラスでは動物や食べ物、乗り物などの描かれたフラッシュカードを使用し、簡単な言葉の繰り返しを毎日おこない言葉の発語を促している。

③ 毎日自然に触れながらの散歩や公園遊びをし、夏は水遊びを楽しんでいる

園庭がないので毎日近くの公園に出かけている。外遊びに出かける際は、散歩の場所や人数などを記入し、園長に声をかけて出かけている。園の玄関にはお散歩マップを掲示している。園児の交通事故にあった報道の際には、「信号が早く変わる」、「交通量が多いので注意」、「手をつなぎかえる」などを記入した散歩ヒヤリハットマップを作成し掲示した。公園では体を動かしたり、落ち葉で遊んだり、落ち葉などをひろって制作に使ったりしている。夏の間は年齢別に水あそびをおこなっている。0、1、2歳児は建物の横の通路でおこなっている。

4	評価項目 4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点 (〇〇〇)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
	●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当	
評価項目 4 の講評			
<p>① 行事の前は内容が理解されるようにペープサートや絵本の読み聞かせなど工夫している 今年度プチ遠足をとりにいった。園児 14 名と職員 8 名で南常盤台公園へ行き、おやつを食べたり、シャボン玉遊びなどをおこなった。行事の実施にあたっては園児が興味を持てるように絵本を読み聞かせたり、ペープサートで導入するなどして、わかりやすく理解できるようにしている。毎月 1 回おこなっているお誕生日会や避難訓練、不審者対応訓練のほか年間通して季節の行事をとりにくんでいる。行事の中には「勤労感謝の会」も予定している。園長が交代して間もないため、今年度の行事の取り組みをとおして園行事を確定したいと考えている。</p> <p>② 入園時に年間計画を知らせ、園行事への保護者の参加を促している 入園時には年間行事について説明をおこなっている。保護者が参加する保育参観、夏まつり、保護者会があり行事の前にはお知らせを配布し、園だよりでも毎月の予定を載せている。保護者会は保育参観の後におこなっている。時間が短くなってしまうため、時間が取れる機会が必要だと園も検討している。昨年できなかった発表会は、日頃の保育を保護者に披露する会として 12 月に予定している。運営委員会には 2 名の保護者が参加している。園の状況を知らせ、保護者からは卒園後の提携園についてなどの質問や行事に対する要望などを出せる機会になっている。</p>			
5	評価項目 5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点 (〇〇)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目 5 の講評			
<p>① 0 歳児クラスから延長保育を受け入れ、安心して楽しく過ごせるように配慮している 0 歳児クラスからの延長保育を受け入れ保護者の就労援助をおこなっている。0 歳児は 0 歳クラスの部屋で落ち着いて過ごせるようにしている。1, 2 歳の延長保育と一緒に過ごしている。テーブルのおすべり遊びや時には他のクラスのおもちゃであそぶなど普段の保育ではできない遊びも取り入れている。小規模保育園で園児も少ないため、園児たちは担任だけでなく他のクラスの職員とも信頼関係ができていて、延長保育時間帯も安心して楽しく遊びながら過ごしている。</p> <p>② 延長保育には補食が提供されているが、20 時までの延長保育の補食に工夫を期待したい 夕方は 18 時 16 分から 20 時までの延長保育を実施している。月極延長保育とスポット延長保育を事前申し込みで利用することができる。担任から園児の体調や 0 歳児は夕寝の必要性など引き継ぎをおこないながら延長保育をおこなっている。18 時半には補食として市販のお煎餅やクッキーと麦茶を提供している。20 時までの延長保育児も同じものになっているが、20 時過ぎに家に帰ってからの夕食時間を考えると、お菓子ではなく補食の内容の検討を期待したい。</p>			

6	評価項目 6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している			評点 (0000)
	評価	標準項目		
	●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している		○非該当
	●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている		○非該当
	●あり ○なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している		○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている		○非該当	
評価項目 6 の講評				
<p>① 安心、安全の食材を使った給食を、ゆったりとした雰囲気食べさせている 2カ所の共同購入を利用し添加物の少ない国産の食材を使って給食をつくっている。出汁は鰹節と昆布を使ってやさしい味にしている。0歳児は2人の園児に1人の保育士を配置しゆったりと食事がとれるようにしている。1, 2歳児クラスも基準以上の保育士配置で一人ひとりの状況を見ながら食事がとれるようにしている。栄養士も食事をしてる所に参加し、食べ方や量なども見ながらメニューの工夫をしている。行事の日には行事にあわせたメニューを作成し園児を楽しませている。楽しく食事をすることを目標にし、無理に食べさせないようにしている。</p> <p>② アレルギー食への対応が丁寧にされている 入所時の面談で、園のアレルギー対応食についての説明をおこなっている。入園時0歳児は「食材チェック表」にためし済みの食材を記入し、離乳食が進むに従い、食べたことのない食材に対しては家で食べさせチェックをしてもらい、園で給食やおやつを食べさせている。アレルギー児の給食は栄養士からクラスの職員に渡す時、園長も含め口頭と書面でのチェックをしている。トレーの色と食器の色を他の園児と変えて使用するなど、誤食のないように配慮している。卵のアレルギー児がいる時は卵を使わない献立を作成して同じ給食が食べられるようにしている。</p> <p>③ 食育計画により、食への関心を持つ取り組みをしている 年間食育計画では子ども達の年齢に合わせた食育のねらいや働きかけ、保護者へのお便りや働きかけの計画がたてられている。食育計画の一つとしてキノコを触って匂いを嗅いだり、トウモロコシの皮むきをおこないながら、それらを使用してつくられる昼食やおやつの話をした。食事の前には野菜など食材に関する絵本の読み聞かせもおこなっている。栽培の場所を検討しながら、これからも野菜の栽培をしたいと考えている。</p>				
7	評価項目 7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している			評点 (000)
	評価	標準項目		
	●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している		○非該当
	●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている		○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている		○非該当
評価項目 7 の講評				
<p>① 毎日の外遊びや保健だよりの発行で、健康な体づくりができるよう働きかけている 0歳児からの保育なので検温や体調のチェックを細目にわたりおこない、異変があれば保護者に報告できる体制をとっている。感染症が出たときは玄関にある掲示コーナーにも貼り出し保護者に知らせている。毎日の外遊びや体操、給食などで体づくりをおこなっている。保健だよりに早寝・早起きで生活リズムを整えるための根拠や朝の健康チェック項目など、保護者にもわかりやすく健康な体づくりができるように伝え、保育園と家庭と一緒に園児たちの健康な体づくりのための働きかけをおこなっている。</p> <p>② 嘱託医や病児保育所との連携で急なケアに対処している 小児科・アレルギー科の嘱託医には年2回の園児の健康診断と健康管理を依頼している。また急な病気の対応や感染症についての対応などの相談もおこなっている。保護者には必要に応じて区内にある五カ所の病児保育の利用法も知らせている。今まで上唇が切れた怪我はあったが、急な病気などで嘱託医の対応が必要な事例はなかった。</p> <p>③ 睡眠チェックをおこない、乳幼児突然死症候群の予防に努めている 保育園ではあおむけ寝をさせている。保護者には家庭でもあおむけ寝にもらえるように協力を促している。睡眠中は担当の保育士がそばにつき、0歳児は5分ごと、1・2歳児は10分ごとの睡眠チェックをおこないチェック表に記</p>				

	入している。毎日点検はされているが、チェック表には顔色などの点検項目が記入されていないので点検項目の記入を期待したい。		
8	評価項目 8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点 (〇〇〇〇〇)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
	評価項目 8 の講評		
	<p>① 0歳児クラスからの延長保育の実施など柔軟な対応をしている</p> <p>6ヶ月からの乳児を預かっているが、0歳児クラスから保護者の長時間保育の要望に応じている。7時15分から8時44分、16時46分から20時までを延長保育時間としている。月極の申請とスポット延長保育の希望を1ヶ月前に受けている。保育時間が延長保育の時間にかかる保護者には勤務証明を提出してもらっている。残業などの急な延長保育の要望にも対応し保護者の就労支援をおこなっている。</p> <p>② 詳しく記録された連絡帳や登降園時の保護者対応で信頼関係を深めている</p> <p>一日の生活を詳しく記録している連絡帳で保護者と園生活、家庭での状況を共有している。登降園時には保護者に直接一日の主なできごとや連絡事項を話す機会をもっている。保護者からも積極的に家での様子を伝えられ、子どもの状況を共有することができている。保育見学会後の保護者アンケートには「子どもの状況を理解して接してくれている」との感想もあった。今回の第三者評価における利用者アンケートでも、88%の家庭が保育園との信頼関係がある、と回答している。</p> <p>③ 保育参観や園だよりなどで子ども達の成長の様子を知らせている</p> <p>年4回の保健だより、毎月の給食だよりや園だよりでは子どもたちのクラスの様子、行事の予定、成長の様子や発達に役立つ記事などを掲載し配布している。6月に保育参観をおこない園での生活や給食を見学してもらったり、保護者と一緒にゲームをおこなったりしている。昨年はできなかった発表会は、日頃子ども達がうたっている歌や手遊びなどを披露し成長している姿を見てもらおう会として12月に予定している。</p>		
9	評価項目 9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点 (〇〇)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
	●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
	評価項目 9 の講評		
	<p>① 高齢者施設の訪問活動など、地域との交流をおこなっている</p> <p>今年も2歳児クラスの園児6名と職員4名で高齢者のデイケアセンターの訪問活動をおこなった。園児の手作りマラカスをプレゼントしたり、歌をうたったり、高齢者と会話をして交流の機会を持った。回数を重ねて園児たちも施設の様子や高齢者との交流に慣れてきている。高齢者訪問活動の後は写真入りの報告書を作成した。昨年度から始められた高齢者のデイケアセンターの訪問活動だが、今年度は6月ともう1回の訪問活動を予定している。地域にある公立保育園との交流も検討している。</p> <p>② 夏祭りには地域の子育て家庭を招いたり、育児相談を受ける機会にしている</p> <p>昨年から夏祭りを取り組み、ポスターを地域に貼りだし、地域の子育て家庭にも参加を呼びかけた。魚すくいやゲーム、うちわの制作など地域の子どもたちと祭りを楽しんだ。育児相談コーナーも設け多くの相談を受けた。今年度は8月におこなうため、計画書も作られ準備も進められていて、卒園児にも参加を呼びかけている。地域の行事に参加したり、他園との交流の機会を増やして地域とのつながりを広げていきたいと園は考えている。</p>		

〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行なっている
タイトル①	0歳児からの延長保育や当日の延長保育の要望にも対応し、保護者の就労支援をしている	
内容①	開園時間は7時15分から20時である。延長保育は標準保育児の場合、18時16分から20時まで、短時間保育児は7時15分から8時44分、16時46分から20時までを延長保育時間としている。入所時の個人面談で保護者の就労状況を聞き取り、6ヶ月児から延長保育の要望に対応している。延長保育児には補食を提供している。月極とスポット利用ができ、前月10日までの申し込みを受けている。当日30分前の連絡により、急な残業などによる延長保育にも対応している。0歳児から延長保育が利用できることで安心して就労することができている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行なっている
タイトル②	基準以上の職員配置で園児一人ひとりを大切にされた保育で、保護者からの信頼も大きい	
内容②	栄養士を含め基準以上の職員配置になっている。食事の際、0歳児クラスでは二人の園児に対し一人の職員を配置し、ペースに合わせて食べさせたり、入眠の際は一人ひとり抱っこで寝かせている。1、2歳児もゆとりの保育体制で子ども一人ひとりの状態に合わせた言葉かけや絵本の読み聞かせ、フラッシュカードの利用などで発語を促している。食事も無理じいをしないで子どもの様子に合わせた対応をしながら食べさせている。トイレトレーニングも1歳児クラスからすすめ、2歳児クラスの中には、紙おむつからパンツに移行している園児も数人出ている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる
タイトル③	毎月いろいろな状況に応じた不審者対応訓練を継続して実施している	
内容③	保育園は駅近くに所在し、玄関入口前の道路には多くの一般通行人がいるため、不審者の侵入リスクについては特に注意を払っている。毎月の不審者対応訓練では、「0歳児クラスより侵入」、「予告電話」、「水遊び中の撮影」、「0歳児クラスからのぞき見」、「宅配を装った侵入」、「午睡明けすぐ」、「散歩中」、「保護者と一緒に侵入」などあらゆる状況を想定し、その状況に対して、こどもの安全確保、不審者対応、通報、職員の行動や連携、避難の場所・方法など、いつでも実際に適切な行動ができるように身に就く訓練を繰り返して実施している。	

〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	職員同士の仲が良く、園児一人ひとりを大切にした保育など小規模保育所の良さが生かされている
	内容	定員19名の小規模保育園なので、日常の保育でも保育士同士の話し合う機会や交流が多くもたれている。「各クラス間の担任同士でコミュニケーションをよく取り、人間関係づくりができています」「職員が温かい」「小規模ならではの家庭的な雰囲気がとても良い」などの意見が今回の第三者評価の職員アンケートで記述されていて、職員の仲の良さもうかがえる。小規模保育園であること、基準以上の職員配置がされていることで子ども一人ひとりの様子や特性を把握でき、子ども達に丁寧に接することができ、職員にとっても働きやすい環境になっている。
2	タイトル	管理栄養士とパート栄養士が2ヶ所からの共同購入の食材を使い、安全・安心な給食を手作りし提供している
	内容	19名の園児に対し3名の栄養士により昼食、おやつを手作りしている。2カ所の共同購入を利用して添加物のない肉類や国産野菜を使用した安全・安心な食材を使用した給食になっている。毎月給食だよりを作成し、月齢に合ったスプーンやフォークの持ち方など子どもの発達と食に関する記事や給食のおすすめレシピなどを掲載し、配布している。季節の行事の際は行事食のメニューにして子ども達を楽しませている。毎日の献立を玄関に展示し、保護者が直接一日の給食内容を見ることができるようになっている。保護者からの満足度も高い。
3	タイトル	園では「職制」、「保育」、「園活動」に関して研修がおこなわれ、法人グループでは職員全員参加の理念研修が毎年おこなわれている
	内容	職員研修が充実している。毎年各人の希望を取り入れながら研修予定表が作成され、受講内容は、「職制」に関して園長研修、主任研修、マネジメント研修があり、「保育」に関して保育向上、クリエイター、クラフト、リズム、フィジカルの研修が、「園活動」では救命救急教育、地域貢献の研修などが毎月開催されていて、その研修報告書には内容、感想や今後の具体的な役立てが記されており、職員会議でも報告されている。また、法人グループ主催で毎年職員全員参加の保育理念普及研修があり、主任クラスは複数回参加をしている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	MIRATZ 常盤台保育園独自の保育内容の良さをホームページや入園ガイドなどでアピールできるような工夫を期待したい
	内容	ホームページは系列の保育園の一つとして、定員や住所、建物の写真など最低限の情報が載せられている。系列園だが園ごとに独自の保育内容、献立作成などをおこなっている。基準以上の職員配置、安心・安全な食材を使用した給食、毎日の外遊びなど常盤台保育園独自の保育内容の特徴、園生活や行事の写真、地域支援などを載せてホームページがつけられることを期待したい。小規模保育園の良いと思われる保育内容をアピールする機会としてホームページの定期的な更新もできるとよい。入園ガイドにも園の独自の保育内容を入れて作られることを期待したい。
2	タイトル	現在用意しているマニュアルは散発的であるので、必要なマニュアルを体系化し計画的に作成して、職員に周知していくことを期待している
	内容	マニュアルは準備しつつあり、災害対策、虐待防止（板橋区の早期発見と対応）、感染症対策ガイドライン、水遊び、乳幼児突然死症候群、事故発生時の対応・連絡体制、勤務・保育にあたっての注意事項などがあるが、散発的である。保育・園運営・職員資質向上・サービスの質の向上・危機管理（個人情報、防災防犯、安全保育、事故時対応）・健康と保健・給食・保護者関係・新入園児関係・虐待防止・他機関（実習生ボランティア、子育て、地域支援）などと項目を分類体系化した表を作成し、必要なマニュアルを計画的に作成していくことを期待している。
3	タイトル	中学生の体験受入れ、他の保育園との交流、育児相談、離乳食相談など栄養士も参加した相談会の開催など地域への貢献を期待している
	内容	園開設3年目であり、地域社会との交流はまだ薄い。昨年度は高齢者福祉サービスへの園児の訪問、区から依頼された子育て支援員の受け入れ、保育士を目指す学生の受け入れなどを始めている。園としても、地域とのつながりを深めていくことを今年の重点取組事項としており、中学生の体験受入れ、他の保育園との交流などを考えている。区のホームページに情報提供をしたり、育児相談、離乳食相談など栄養士も参加した相談会の開催、自治会との交流など、地域の福祉ニーズにもとづいた地域への貢献を期待している。